

新潟県特別支援教育研究会

言語・難聴部主催 夏季研修会

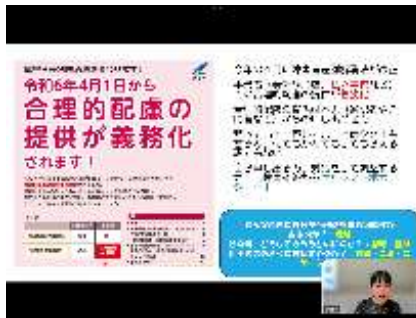
1 開会のあいさつ・講師紹介



新潟県特別支援教育研究会 言語・難聴部 部長

江口滋 様の講師紹介で、研修会が始まりました。

2 講演



東京学芸大学教育学部 准教授 大鹿 綾 様よ

り、「発達障がいと併せ持った難聴児の指導」という演題で研修会が行われました。

大鹿様からは、冒頭に「発達障害ってなに？」とそもそも発達障害とは何かを分かりやすく説明していただき、「聴覚障害をもつ発達障害がなぜわかりにくいのか」、「小学生の間に『セルフアドボカシー』を身に付けさせたい」、「チームで検討し、その子に合う支援方法を探る必要がある」など、聴覚障害を併せ持った発達障害児の指導について、かみ砕いて大変分かりやすく講演していただきました。

3 お礼の言葉

新潟県特別支援教育研究会 言語・難聴部 副部

長 佐藤浩一 様のお礼の言葉で研修会を終えました。